

社会福祉法人 東京コロニー TOKYO COLONY

東京コロニーとは お知らせ 事業案内 ライブラリー リンク

自立への道 未来への挑戦  
THE CHALLENGE

社会福祉法人東京コロニーは2018年現在、障害福祉サービス事業7ヶ所、グループホーム4ヶ所等の施設を経営、約520名の障害のある方に事業を提供している。

●当法人のIT利用事業の成り立ち  
1951年法人設立以来、一貫して一般雇用されることが難しい方々への職業リハビリや就業の場の開拓を実施。職能開発室の「IT技術者在宅養成講座」はその一つであり30年目を迎える(実質のスタートは1970年代)

### 職能開発室の概要

- 1980年代から、重い障害や疾病のある方の働き方の研究、支援をスタート
- 就労の水準にあわせた情報処理技術の研修を実施(2年間のコースと4か月のコースを準備)

→ 30年間のこだわりは

「ICTの技術を獲得する」「支援機器を活用する」  
「自宅などの自分にあった環境で働く」

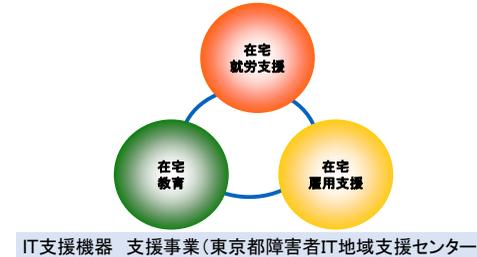
●結果、下記の4事業を展開 (ICT機器の専門支援事業含む)



在宅IT教育 在宅雇用支援 在宅就労支援 IT利用支援

### ● その結果

- 2018年、修了生150名のうち、6割が在宅雇用に、2割はフリーランスへ(5割がITの国家資格を取得)



IT支援機器 支援事業(東京都障害者IT地域支援センター)

### 在宅雇用の採用例の傾向

<求人が多い業務事例>

- WEB関係
  - クリエイト
  - HTMLの編集
  - リサーチ
  - ロコミサイト、ネットパトロール、コラム
- 事務処理系
  - 書類作成、集計業務
  - 人事業務、秘書的業務
- プログラミング、データベース、CAD、DTP等

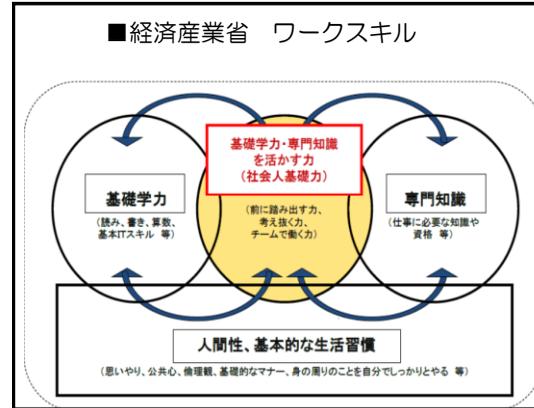
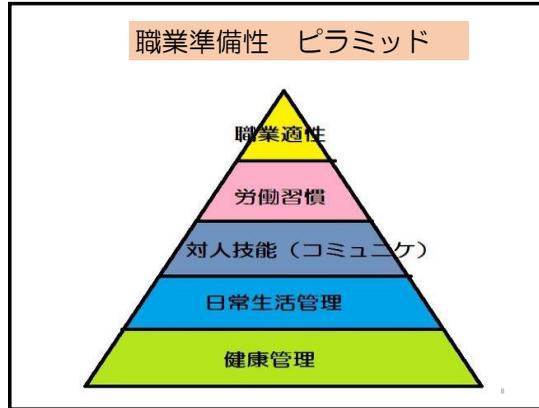
社会福祉法人東京コロニー 職能開発室

障害のある方の在宅雇用-在宅就労事例

実施日	就労期間	勤務先	仕事内容	障害名
2015/03	在宅雇用	あひだ事業法人(PWQ New)	グラフィック制作・販売	聴覚障害
2014/11	SOHO	協賛会社 YFP (業務委託)	リサーチ業務	脳卒中後遺症
2013/07	在宅雇用	株式会社シーイーシー	社内情報システム化プロジェクトの実施	聴覚障害
2013/03	在宅雇用	日株式会社(IT関連会社)	IT関連業務/IT関連会社勤務	脳卒中後遺症/聴覚障害
2012/06	在宅雇用	株式会社インテリエン	Web制作	高血圧/聴覚障害
2012/07	在宅雇用	株式会社TS9717	集計業務	脳卒中後遺症
2012/03	在宅雇用	フイアインフオर्मーション株式会社	人事・総務・経理システム導入	聴覚障害/聴覚障害
2011/11	在宅雇用	株式会社TS9717	データベース管理	てんかん
2011/07	SOHO	SOHOグループ es-team	Web制作・集	脳卒中後遺症
2011/03	在宅雇用	東京大野600プロジェクト	Webサイト制作業務	聴覚障害
2010/11	在宅雇用	株式会社TS9717	集計業務	聴覚障害/言語障害

### ワークスキルとは？

定義は実に多様



ワークスキルとは？  
 Ⅱ  
 働くために必要な力

今日はトータル研修方式で！

働くために必要な力  
 (テレワークのために必要な力)

Ⅱ

①業務に必要な技術・知識  
 +  
 ②業務に必要な作業環境  
 +  
 ③テレワーカーとして  
 必要な社会人基礎力

①習得すべき技術や知識とは？  
 →業務によって様々

一例：IT技術者在宅養成講座  
 (社会福祉法人東京コロニー)

1年目	2年目
<共通カリキュラム> 情報処理技術者試験(国家資格) ○パソコン基本操作 ○情報理論(2進数、論理演算) ○ハードウェア、ソフトウェア ○ネットワーク技術 ○プログラミングの基礎 ○ITパスポート試験	<アプリケーションコース> ○ワープロソフト(Word)、表計算ソフト(Excel) ○Webコンテンツ制作 (HTML、7ヶセビリティ) ○データベースソフトでのアプリケーション開発 <プログラマコース> ○プログラム言語の習得(C言語、VB など) ○Webプログラミング (HTML、PHPなど) ○データベースプログラミング ○工程管理・テスト手法

参考：情報処理技術者試験 とは  
 「情報処理の促進に関する法律」に基づく国家試験(経産省)

▼情報処理技術者試験区分

- ・ITパスポート /利用者(エンドユーザー)の為の資格
- ・基本情報技術者 /情報技術の基礎知識の資格 (応用情報技術者、高度試験)

【オススメの点】

- 1.企業から一定の信頼性  
資格手当など報奨金制度。採用基準としてもメジャー。
- 2.時代の変化に対応できる  
技術が変わる時代に幅広い観点から出題、特定の機種やOS(企業や製品)にしばられず、広く確かな知識を習得
- 3.質の高い試験

②業務に必要な作業環境とは？

支援機器

「前を向く。その力に。」(ACジャパン広告)

えとど動親  
たう「かゆ  
。しあなび  
をりいし  
言がけか

わずかに動く指でネットの仕事をしている青年。  
その収入でお母さんに好物のケーキを送った、というCMは、  
現代の「道具」「環境」と「生産労働」の関係を瞬時に理解させた

③働くための社会人基礎力

—テレワークのために必要な力

東京コロニー 職能開発室ワークスキルのバイブルは

12の基礎力

仕事のための

大久保幸夫

リポート ワークス研究所 所長

名称	能力の種類	標準開発年齢
第一能力	リアクション 反応力	対「人」 10代～20代
第二能力	愛嬌力	対「人」 10代～20代
第三能力	楽天力	対「自己」 10代～50代
第四能力	目標発見力	対「課題」 10代～40代
第五能力	継続学習力	対「自己」 20代～30代
第六能力	文脈理解力	対「人」 20代～40代
第七能力	専門構築力	対「課題」 30代～40代
第八能力	人脈開拓力	対「人」 30代～50代
第九能力	委任力	対「人」 30代～40代
第十能力	カウンセリング 相談力	対「人」 40代～60代
第十一能力	教授力	対「人」 40代～60代
第十二能力	コーディネート 仲介調整力	総合 40代～60代

年代や経験で、必要な力、スキルは違うんだね

■「仕事のための12の基礎力」  
の4つをテレワークにあてはめると・・・

①反応力  
早くて確かなレスポンス(メール、電話・・・)  
リアクション能力高ければ手に入るものが違う。

②愛嬌力  
気持ちを伝えるのは、自分で十分と思う3倍程度やってみる(特にテレワークでは)。  
離れている同僚や上司、クライアントといい意味で思いあう。暖かいコミュニケーションを取れるよう。

### ③楽天力

何より仕事（特にテレワーク）で大事。仕事の閑散期、上司や担当とのコミュニケが滞る時。でも気にしすぎない、焦らない。いらいらしない。次のアイデアを考える。学ぶ。提案を溜めおく

### ⑥文脈理解力

文脈理解転じて、相手の言いたいことを察知する力。日々の状況が見通せるようアンテナを張る。

（見えない相手の状況を想像、相手の効率を下げない

ちなみに皆さんは以下のことをしていますか？



☆資料などを送ってもらった時、必ずメールや電話で到着連絡。

☆資料を送る時、資料送付状、付箋など、ちょこっとメモを。

☆期日に遅れるときは連絡を。

☆メールの返事に時間がかかりそうな場合は、とりあえず受け取ったことだけでも連絡。

→ 離れていても「信頼される人」になるために。

究極のワークスキルは  
信頼

- 技術と制度は両輪。  
技術のみならず、  
制度も勉強しておこう。

「福祉」か「医療」か「労働」かではなく、  
「福祉も医療も労働も」。  
誰もが自分仕様の「ディーセントワーク」へ

▶ 障害者の在宅勤務事例等

<http://www.challenge.jeed.or.jp/index.html> (高齢・障害・求職者雇用支援機構)

<http://www.tocolo.or.jp/syokunou/triangle/jirei.html> (東京コロンニー)

<http://www.japan-telework.or.jp/> (日本テレワーク協会)

2018.11 社会福祉法人東京コロンニー 社会福祉士 堀込真理子

horigome@tocolo.or.jp

Tel: 03-6914-0859 Fax: 03-6914-0869

Http://www.tocolo.or.jp/syokunou/